

エコアクション21 環境経営レポート

(令和6年4月~令和7年3月)



蓮華寺池公園





藤枝市環境経営方針

【基本理念】

私たちのまち藤枝市は、緑と水に囲まれた美しい恵まれた環境の中で、調和のとれた産業を育み、地域に根ざした伝統文化を大切に守りながら郷土とともに発展してきました。

このかけがえのない環境の恩恵を将来にわたって、守り、育み、さらに継承するために、 平成21年12月に「"もったいない"都市宣言」を行いました。

藤枝市は、この宣言のもと、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会の構築に向け、すべての市民が環境の大切さに「気付き」、「学び」、そして「行動」をする「環境日本一のまち」の実現を目指し、環境経営の継続的な改善を実施してまいります。

【基本方針】

1 環境に配慮した事務事業を推進します。

省資源・省エネルギー、廃棄物の削減及びリサイクル等、環境負荷の低減 に努めます。

2 環境関連法規等を遵守します。

環境関連法規等を遵守し、環境保全に努めます。

3 地球の環境保全・創造に向けて取り組みます。

ゼロカーボンシティや循環型社会の構築に向け、温室効果ガス排出量の削減や6Rの推進による廃棄物の発生抑制などの地球環境の保全・創造に努めます。

4 もったいない運動を推進します。

"もったいない"をキーワードとした「もったいない運動」を全市的に展開し、市民・事業者・行政が一丸となった環境保全活動を推進します。

5 グリーン購入を推進します。

環境に配慮した物品等の調達に努めます。

6 環境関係の情報を幅広く提供します。

環境に関する情報を、幅広く提供し、市民・事業者の環境活動を支援します。

7 SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献します。

環境施策を推進することにより、「藤枝版ローカル SDGs」の実現を目指し、 国際的な目標の達成に貢献します。

令和3年4月1日

藤枝市長 北村 正平

藤枝市「ゼロカーボンシティ」表明

気候変動問題は、私たち一人一人、この星に生きる全ての生き物にとって避けることのできない、喫緊の課題です。

近年、国内各所において集中豪雨や大型台風などの気象災害が頻発し、甚大な被害をもたらしており、今後、このような水害等の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たち人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現するべき事態と考えております。

2015年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されるとともに、昨年公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書においては、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロにすることが必要」とされております。

藤枝市は、国際社会の一員として、市民、事業者と一丸となって、目指す環境像として掲げる「環境日本一のまち 未来に輝く 持続可能な環境行動都市」の実現に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロの「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明いたします。

令和3年2月15日

藤枝市長 北村 正平





「デコ活」宣言

2050 年のカーボンニュートラルの実現に向けて、国の進める「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動 (デコ活)」に賛同し、「環境日本一のまち」の実現に向けて「デコ活宣言」をいたします。

<藤枝市独自宣言>

環境の啓発事業や、再エネ、 省エネに係る補助事業の推進 及び、環境人材を育成すること で、「デコ活」の取組みを後押 しします。



また、市民・事業者・行政が"もったいない" の精神を基本に、温室効果ガスを削減するため の行動を実践し、「環境日本一のまち」の実現を 目指します。

令和6年1月30日

藤枝市長 北村正平

目 次

第	1 :	章 藤材	5市の基本的事項	1
	1	藤枝市	īの概況	1
		(1)	概要	1
		(2)	地勢	1
		(3)	気象	1
	2	組織の)概要	2
		(1)	自治体名及び首長名	2
		(2)	環境管理責任者	2
		(3)	所在地	2
		(4)	担当課	2
		(5)	事業活動の内容	2
		(6)	事業規模	2
		(7)	組織機構	3
	3	推進体	x制	5
		(1)	環境施策の推進体制	5
		(2)	エコアクション21の推進における責任と役割	6
		(3)	エコアクション 2 1 の取組の対象範囲	6
	4	環境に	[関する現状と課題	7
		(1)	ごみ収集処理	7
		(2)	地球温暖化対策	7
		(3)	自然環境の保全	8
		(4)	環境教育の充実	9
第	2	章 藤材	5市の環境への取組1	0
	1	取組の)概況 1	0
	2	藤枝市	īもったいない運動1	0
		(1)	"もったいない"都市宣言1	
		(2)	環境フェスタ"もったいない"2024inふじえだ1	1
		(3)	グリーンカーテンコンテスト1	2
		(4)	"もったいない"ポスターコンクール1	2
	j	藤枝市	もったいない推進月間1	3
	3	藤枝市	ī環境基本計画1	4
		(1)	基本理念1	4
		(2)	目指す将来像1	4
		(3)	基本目標1	4
		(4)	計画の期間1	4
		(5)	藤枝市環境基本計画の取組状況1	5

	(6) 令和6年度から新たに実施した主な取組	1 8
第3:	章 事業所としての環境への取組	19
1	藤枝市環境経営計画	19
	(1) 2024 (R6) 年度の取り組み実績	19
	(2) 2025 (R7) 年度の目標	2 0
2	藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン	2 1
	(1) 計画の概要	2 1
	(2) 目標達成に向けた取組	2 1
	(3) 目標	2 3
	(4) 計画の期間	2 3
	(5) 藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプランの取組状況	2 4
3	令和6年度の各部における主な環境取組	28
4	環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果	3 4
5	環境に関する苦情等受付状況	3 9
	(1) 市内で発生した苦情	3 9
	(2) 市の業務に対する苦情	3 9
6	代表者による全体評価	4 0

第1章 藤枝市の基本的事項

1 藤枝市の概況

(1) 概要

藤枝市は、静岡県の中央、静岡市の西に隣接する市です。北部は赤石山系の南端に接し、南部には肥沃な志太平野が広がり市街地が形成されており、市の面積194.06 k ㎡、人口139,290人(2025年3月時点)となっています。

本市は、「幸せになるまち藤枝づくり」を基本理念 に4K(環境・教育・健康・危機管理)を重点施策と して取り組み、特に環境施策としては2009(平成21)



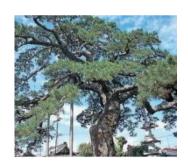
藤枝市の位置

年12月に"もったいない"都市宣言を行ったことを契機に、2010(平成22)年度から毎年12月を「もったいない推進月間」とし、市民・事業者・行政が一丸となって「環境日本一のまち」を目指した取組を推進しています。

また、2021(令和3)年には、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指すための「藤枝市ゼロカーボンシティ表明」を行いました。2024(令和6)年1月には、環境省の新たな国民運動に賛同する「デコ活宣言」を行い、"もったいない"の精神を基本に「環境日本一のまち」の実現に向けて取り組むことを改めて宣言しました。



市の鳥 ウグイス



市の木 マツ



市の花 フジ

(2) 地勢

地形は南北に長く、北部は赤石山系から連なる中山間地で、森林をはじめ豊かな緑に恵まれています。中部の平坦地は、市街地、住宅地を形成し、南部には、大井川、瀬戸川がつくる水田地帯が広がっています。

(3) 気象

本市の最寄りの気象観測データ(志太消防本部焼津消防署)によると、2023(令和5) 年の平均気温は 18.0℃で温暖な気候です。

また、年間雨量は、気象庁のデータによると、2024(令和6)年の年間降水量は、山間部の高根山付近で4,380.5 mmであり、最大雨量は8月の978.5 mmです。

2 組織の概要

(1) 自治体名及び首長名

自治体名:藤枝市

首 長 名:藤枝市長 北村 正平

(2)環境管理責任者

藤枝市環境水道部長 白鷺 秀樹

(3) 所在地

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山1-11-1 (本庁舎)

(4) 担当課

藤枝市環境水道部環境政策課

住 所: 〒426-0026 静岡県藤枝市岡出山2-15-25 (南館)

電 話: 054-643-3183 FAX: 054-631-9083

E—mail: kankyoseisaku@city.fujieda.shizuoka.jp ホームページ: https://www.city.fujieda.shizuoka.jp

(5) 事業活動の内容

一般行政事務、保育、上水道事業、下水道事業、教育事務、小・中学校の運営など 市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供

(6) 事業規模

令和6年度一般会計当初予算:610億8,000万円 職員数(病院を除く):2,279(2024(令和6)年4月時点)



市役所本庁舎

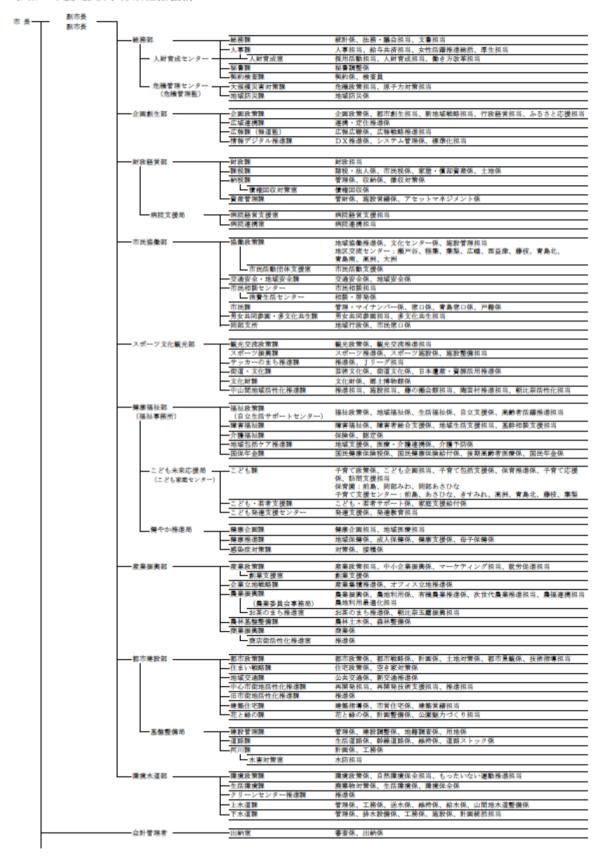


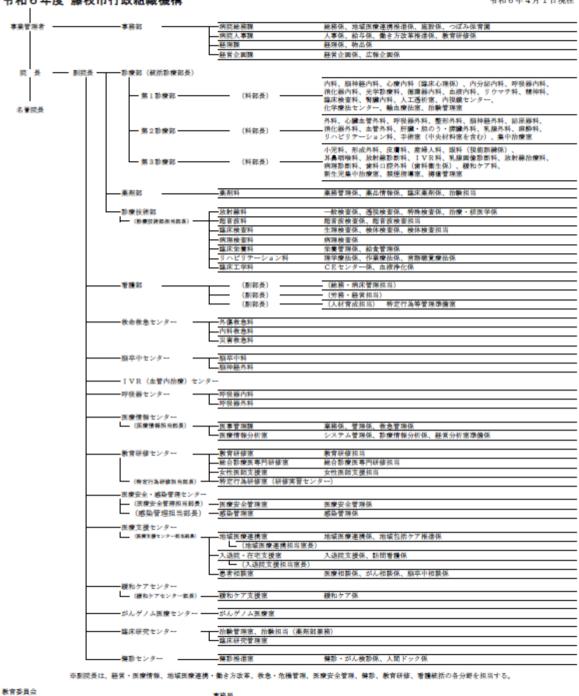
岡部支所

(7)組織機構

令和6年度 藤枝市行政組織機構

令和6年4月1日現在

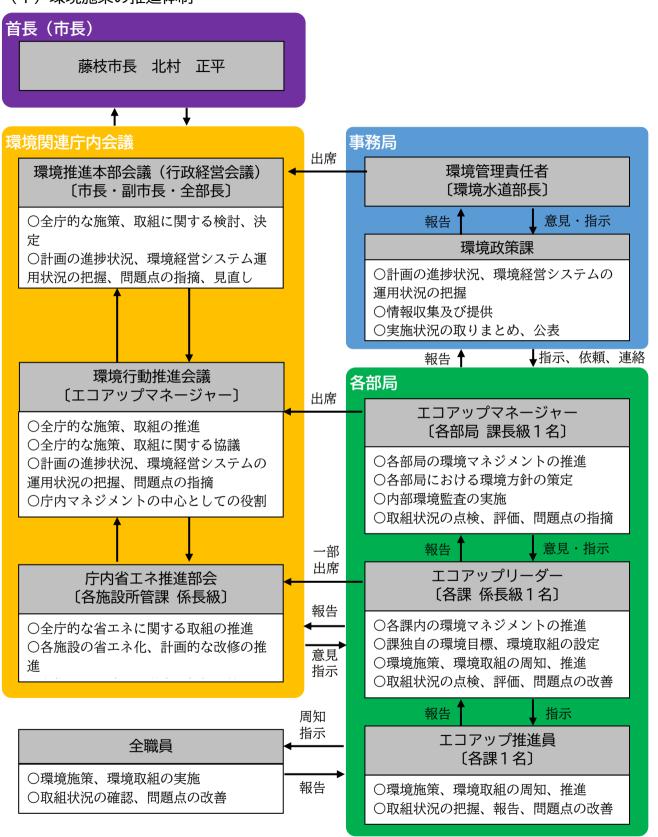






3 推進体制

(1)環境施策の推進体制



(2) エコアクション21の推進における責任と役割

管理組織

職名・会議名	主な責任と役割
首長 (市長)	・環境経営方針の策定
環境推進本部会議	・環境管理責任者の任命
	・環境経営システムの運用に必要な経営資源(人財、資金等)の用意
	・環境経営システム全体の評価と見直し
	・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システム全体の構築、運用、管理
(環境水道部長)	・各部署の責任者及び担当者の任命(エコアップマネージャー等)
	・各部署への環境経営システムの運用を指示
	・環境経営システムの運用状況を首長へ報告
環境行動推進会議	・環境経営システムの推進、環境マネジメントの推進
省エネ推進部会	・省エネに関する取組の推進、各施設の省エネ化、計画的な改修の推進
事務局	・全庁的な環境経営システムの運用状況の把握
(環境政策課)	・環境経営システム運用のための研修の実施
	・事務事業における環境負荷の把握
	・各部署の環境への取組状況の把握
	・情報収集及び各部署への情報提供

活動組織

職名	主な責任と役割
エコアップマネージャー	・部内の環境経営システムの運用、環境マネジメントの推進
(各部局の課長級1名)	・部内の取組状況の点検、評価、問題点の指摘
	・部内の環境方針の策定
	・内部環境監査の実施
エコアップリーダー	・課内の環境経営システムの運用、環境マネジメントの推進
(各課の係長級1名)	・課独自の環境目標、環境取組の設定
	・課内の取組状況の点検、評価、問題点の改善
エコアップ推進員	・課内の環境マネジメントの推進
(各課1名)	・課内の取組状況の把握、報告、問題点の改善
全職員	・環境経営システムの実施体制及び自らの役割を理解
	・環境取組の実施、取組状況の確認、問題点の改善

(3) エコアクション21の取組の対象範囲

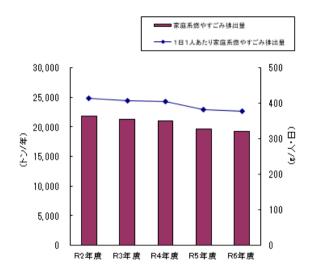
総合病院及び指定管理施設を除く全ての公共施設において、エコアクション21のマネジメントを実施し、より効率的・効果的な環境負荷の軽減に努めます。なお、総合病院及び指定管理施設に関しては、独自の経営主体であることや、緊急性が高い業務内容のため環境負荷軽減について取り組むことが難しいことから対象範囲から除きます。

4 環境に関する現状と課題

(1) ごみ収集処理

本市では、1985(昭和 60)年度から天 ぷら廃油、1990(平成 2)年度から紙類、 2003(平成 15)年度から木くず・剪定枝、 さらに 2005(平成 17)年度から容器包装 プラスチック類の分別を開始するなど燃 やすごみの減量、資源化に努めてきまし た。

また、これまでも家庭系燃やすごみの約5割(湿重量ベース)を占める生ごみの減量・資源化への取組として、生ごみ処理機等購入に対する補助事業を実施していましたが、2010(平成22)年度に白



家庭系燃やすごみ排出量の推移

藤地区をモデル地区として実施した家庭系生ごみの分別回収・堆肥化の実証事業を踏まえ、2011(平成23)年度からは一部地域で、家庭からの生ごみの分別回収をスタートさせました。2023(令和5)年度は約20,000世帯で実施しています。

さらに、プラスチックの資源循環を促進するため、プラスチック製品 (PP・PE 単一素材に限る) の分別収集を 2023 (令和 5) 年 1 月より開始しました。

(2)地球温暖化対策

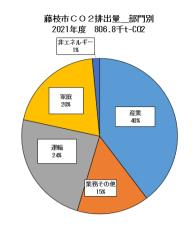
本市における 2021 (令和3) 年度の温室効果ガス排出量は、二酸化炭素に換算して約 844 千トンであり、前年度対比 0.5%の増加となりました。

	2013			2014			2015			2016			2017			2018			2019			2020			2021		\neg
	∱t-CO2	基準年比	提出 シェア	∱t-CO2	基準年比	提出 シェア	f-t-CO2	基準年比	提出 シェア	∱t-CO2	基準年比	提出 シェア	ft-CO2	基準年比	提出 シェア	∱t-CO2	基準年比	提出 シェア	1+t-CO2	基準年比	提出 シェア	fit-CO2	基準年比	提出 シェア	f-t-CO2	基準年比	提出 シェア
二酸化炭素(CO2)	973	096	9796	970	096	9796	929	-596	9796	898	O -8%	9696	886	996	9696	869	O -1196	9696	842	-1396	9696	802	O -1896	9696	807	O -1796	9696
メタン(CH4)	14	096	196	14	-196	196	13	-896	196	13	-496	196	14	-196	196	13	O -796	196	13	996	196	16	1796	296	16	O 1896	296
一酸化二室素(N2O	21	096	296	21	096	296	20	-896	296	21	096	296	21	-296	296	19	O -1096	296	19	-1196	296	21	-196	396	21	-296	296
HFC	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096
PFC	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096
SF6	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096	0	096	096
£.11	1,009	0%	100%	1,005	0%	100%	961	-5%	100%	932	O -8%	100%	920	O -9%	100%	901	(3:555	100%	874	O -13%	100%	840	O-17%	100%	844	0-16%	100%

藤枝市における温室効果ガス排出量の推移(単位:千 t-CO2)

また、温室効果ガスの種類別シェアで最も大きい二酸化炭素の排出割合を部門別にみると、産業部門が40%と最も多く、次いで運輸部門24%、家庭部門20%、業務その他部門15%となっています。

また、市民一人あたりの年間排出量は5.9トンです。今後、新エネルギー及び省エネルギー機器・設備の導入促進など、ハード面でのCO2削減対策とあわせ、"もったいない"運



藤枝市の二酸化炭素排出の部門別シェア

動の更なる推進により、家庭や地域等における省エネ意識を一層高め、ライフスタイルやビジネススタイルの転換を促進していきます。

2013			2014			2015			2016			2017			2018			2019			2020			2021		
ft-CO2	1人当たり 装出景 [t-CO2]	ДП [Д]	ft-CO2	1人当たり 排出量 [t-CO2]	An IAI	ft-CO2	1人当たり 装出景 [t-CO2]	ДП [Д]	ft-CO2	1人当たり 排出量 [t-CO2]	AII [A]	ft-CO2	1人当たり 装由量 [t-CO2]	An IAl	ft-CO2	1人当たり 排出量 [t-CO2]	An [A]	ft-CO2	1人当たり 装出品 [t-CO2]	AII IAI	Ťt-CO2	1人当たり 装出品 [t-CO2]	ДП [Д]	₹t-CO2	1人当たり 排出量 [t-CO2]	Antal
1,009	6.9	146,607	1,005	6.8	146,725	961	6.6	146,609	932	6.4	146,531	920	6.3	146,173	901	6.2	145,550	874	6.0	144,662	840	5.8	144,096	844	5.9	143,580

藤枝市における一人当たりの二酸化炭素排出量の推移(単位:t-CO2)

(3) 自然環境の保全

本市の森林面積は約9,210haで、市域の約47.5%を占めています。森林が有する多面的機能には、生物多様性保全、土砂災害防止機能などがあります。そのため、森林の育成・保全等を適切に実施していくことが重要ですが、後継者不足により、耕作放棄地や放置竹林の増大、森林荒廃など自然環境の悪化が課題となっています。森林組合と連携し、後継者の育成、適切な間伐などを実施していますが、近年ではNPOなど市民団体による森林整備や若竹刈り市民参



市民参加の若竹刈りイベント

また、水環境をみると、2022(令和4)年に市内33地点で実施した水生生物調査では、前回調査時(2018(平成30)年)より水質状況が改善した地点が2地点あり、特に瀬戸川、朝比奈川の上流部は「きれいな水」の判定が多い結果となりました。調査結果では、上流部は人為的な影響が少ないことから、自然状態を保持した河川環境により生物多様性が保持されていますが、下流部では人為的影響が大きく、コンクリート三面張りなどで環境が単調となり、生物多様性が低くなっていると考えられます。

また、生物多様性の損失を止め、反転させるための行動「ネイチャーポジティブ (自然再興)」を促すため、「生物多様性ふじえだ戦略」を 2024 (令和 6) 年 3 月 に 策定しました。

(4)環境教育の充実

市民一人ひとりが藤枝市のみならず地球環境を将来にわたって、守り、育み、さらに継承するために、環境の大切さに「気付き」、「学び」、そして「行動」をするように、子供から高齢者までを対象に、各地区交流センター事業と連携して様々な環境教育講座を開催しました。また、自主的な環境活動の実施を促す「こどもエコクラブ」事業や、地域で環境活動のリーダーとなる人材を育成する「エコマイスター育成」事業などに取り組んでいます。



地区交流センターが主催する 水生生物観察教室

「日本一の環境行動都市」の実現に向け、環境行動に取り組む上で中心となる人材 の育成、環境に関する情報発信の充実などが課題となっています。

第2章 藤枝市の環境への取組

1 取組の概況

本市では、地球温暖化やエネルギー資源の枯渇、自然破壊や種の絶滅などの生物多様性の危機といった地球規模での問題に市民総ぐるみで取り組むための契機として、2009(平成21)年12月、「"もったいない"都市宣言」を行いました。

2016(平成28)年度からは、「"もったいない"を実践する環境行動都市・ふじえだ」を目指す環境像として、市民・事業者・行政が互いに協働し、人のチカラを結集した『日本一の環境行動都市ふじえだ』の実現に向けて「藤枝市環境基本計画後期計画」を新たにスタートさせ、各施策に取り組んでいます。

こうした施策を通して、環境問題に市民誰もが「気付き」、「学び」、そして「行動」 する『環境日本一のまち』の実現を目指しています。

また、地球温暖化対策として、市役所の事務事業により排出される温室効果ガスの削減に向けた行動計画である「藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン《第5期藤枝市地球温暖化対策地方公共団体実行計画(事務事業編)》」も令和4年度から第5期の取組期間に入り、全庁的に取り組んでいます。

これらの計画の実効性を高めるため、本市も一事業所として 2008(平成 20)年3月に「エコアクション 21」の認証を取得し、より効果的、効率的な取組みによる環境保全活動に取組んでいます。

2 藤枝市もったいない運動

(1) "もったいない"都市宣言

本市では、環境と共生し、循環を基調とする「持続可能な発展」を目指し、先人から引き継いだ恵まれた自然環境をこれまで以上に住みやすい状態にし、将来へ引き渡していくため、2009(平成21)年12月に「"もったいない"都市宣言」を行い、市民・事業者・行政が一体となって、環境問題に取り組むことを宣言しました。

この宣言のもと、本市では"もったいない"をキーワードとし、様々な環境施策を実施しています。



(2) 環境フェスタ"もったいない"2024 in ふじえだ

環境月間の市民周知と"もったいない"都市宣言に基づく「無駄のない暮らしの実現」「低炭素社会の実現」「地球市民としての行動」を推進・啓発するため、体験型のイベントを開催しました。

令和6年度は駅南通り及びBivi キャンで開催しました。「生物多様性の推進の推進」をテーマに掲げ、はく製(キツネ・タヌキ等)の展示や、葉梨西北小学校のホタルの研究展示などを行いました。

会場では、市内で環境に関連した活動を行っている市民団体や事業所が、日々の活動報告や活動が体験できるブースを出展。多くの市民のみなさんに、楽しみながらできる環境活動を体験していただきました。また、地産地消の観点から規格外野菜活用できるのに捨てられてしまうものをスタンプラリーの景品としたことで"もったいない"を実践し、来場者からも大変好評でした。

【令和6年度実績】

●開催日:令和6年6月1日

●会 場:藤枝市 駅南通り及びBiVi キャン

●来場者数:4,110名

●内 容:・廃材を使ったクラフトづくり

・環境に良い石鹸づくり

・ごみ分別ゲーム

・気候変動に関する体験

・規格外野菜を景品としたスタンプラリー

・熱中症予防啓発

など





(3) グリーンカーテンコンテスト

地球温暖化防止対策、省エネ行動に対する環境意識を高めていくため、気軽に取組むことができ、省エネ効果が高い「グリーンカーテン」を始めるきっかけづくりとして、第 10 回目となるコンテストを実施しました。

【令和6年度実績】

●募集期間:令和6年7月16日~9月20日

●応募数:23件(家庭部門14件、団体部門9件)

●家庭部門:最優秀賞1名、優秀賞4名

●団体部門:最優秀賞1団体、優秀賞3団体





(4) "もったいない"ポスターコンクール

物を大切にする「もったいない」の気持ちを改めて見つめ直すとともに、ごみの減量や環境に関する意識の向上を目的として、夏休みを利用して小学4年生から「もったいない」をテーマにしたポスターを募集しました。

入賞作品は、ごみ収集車3台の左右側面にポスターを拡大シールにして貼り付け、 市民のみなさんに見ていただくことで、環境への意識を高めるきっかけづくりをして います。

【令和6年度実績】

●応募総数:83作品

●入 賞:8作品



市長賞を受賞した作品



入賞作品のシールが貼られたごみ収集車

藤枝市もったいない推進月間

毎年 12 月を本市独自の「もったいない推進月間」とし、市民・事業者・行政が一体となって、更なる環境保全活動に取組み、環境行動都市を目指しています。特に第3金曜日は"もったいない"アクションデーとして、"もったいない"都市宣言に沿った取組を市内全体で実践しました。

《推進月間中の取組》

◎市内小中学校「"もったいない"アクション宣言」

児童生徒が主体的に環境行動を実践する取組として、全ての小中学校で独自のエコ活動「"もったいない"アクション宣言」が実践されました。

【令和6年度実績】

●参加数:10,564人

(25 小中学校の児童生徒と教員など)

●活動結果

- ・アルミ缶約 574kg を回収
- ・ダンボール約 280kg を回収
- ・新聞約 1,410kg を回収
- ・給食の残量を減らす
- ・教室電灯のつけっぱなしをなくした 等

◎まち美化統一"もったいない"アクション

まち美化里親登録のみなさんが、各団体登録の場所の美化活動を重点的に実施しました。

【令和6年度実績】

- ●活動参加者 26 団体(400 人)
- ●活動内容:草刈り、ごみ拾い、花壇等の整備、 カーブミラー清掃、

公園遊具のふき掃除 等

◎もったいない市民のつどい

市民の環境意識を高めることを目的に開催し、環境に関する講演会や展示を行いました。また、"もったいない" ポスターコンクール及びグリーンカーテンコンテストの表彰を実施しました。

●開催日:令和6月12月7日

●開催内容:・ポスターコンクール及びグリーン

カーテンコンテストの表彰

・次世代環境リーダー育成研修 報告会



アルミ缶の回収



空になった給食の食缶



ごみ拾いの様子



表彰式の様子

3 藤枝市環境基本計画

藤枝市では、2015 年(平成 27)年度に「第 2 次藤枝市環境基本計画(後期計画)」 (以下「第 2 次後期計画」という。)を策定し、「"もったいない"を実現する環境行動 都市・ふじえだ」を目指す環境像として、環境行動日本一のまちを目指すためのあらゆ る施策を展開してきました。

また、気候変動への適応やプラスチックごみ、食品ロスをはじめ、大きく変化している本市の環境を取り巻く状況に対応するため、2021(令和3)年の3月に「第3次藤枝市環境基本計画」を策定し、市民・事業者・行政が協働しながら、今ある素晴らしい藤枝の環境を将来に引き継いでいくために、今後10年間の本市の環境像とその実現に向けた取組の方向性を示しました。

(1) 基本理念

- ◎豊かな自然環境を育み、人やまちとの共生を図る
- ◎資源の循環的な利用を図り、持続可能な社会をつくる
- ◎市民、事業者、行政が互いに協力及び連携を図り、積極的に取り組む
- ◎地球環境の保全に対して、日常生活及び事業活動の中で配慮しつつ、積極的に推進 する

(2)目指す将来像

「環境日本一のまち 未来に輝く 持続可能な環境行動都市・ふじえだ」 ~ "もったいない"で市民がつくる環境日本一のまち~

(3) 基本目標

基本目標1 地球にやさしいまちづくり

基本目標2 ものが循環するまちづくり

基本目標3 自然とともに安心して暮らせるまちづくり

基本目標4 みんなで考え行動するまちづくり

(4)計画の期間

2021(令和3)年度から2030(令和12)年度の10年間とし、5年を目途に見直しを行います。

(5) 藤枝市環境基本計画の取組状況

◎方針(環境指標)別の達成状況及び市の取組について

令和6年度における環境指標別の達成状況は次のとおりです。

目標を達成している項目	0	目標達成に向けて順調に推移 している項目	0
目標達成への進捗が低い項目	Δ	目標達成が困難な項目	×

◎基本目標 1 地球にやさしいまちづくり

○方針1 地球温暖化対策の推進 ~エネルギーを有効利用します~

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R6)	中間目標 (R7)	達成状況
市域全体における温室 効果ガス排出量	千 t-C02	1,030.7 H28 排出量	843.8 R3 排出量	896.5 R4 排出量	0

市域全体における温室効果ガス排出量については、目標を達成しています。 今後も市民、事業者による再生可能エネルギーの導入と省エネルギー活動を推 進するため、普及啓発や取組支援を実施していきます。

○方針2 地球環境を守る暮らしの実現 ~地球にやさしい暮らしを実現します~

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R6)	中間目標 (R7)	達成状況
家庭からの1人1日当 たりの二酸化炭素排出 量	g-C02	5,494.6 H28 排出量	4,476.8 R3 排出量	4,600.9 R4 排出量	©

家庭からの1人1日当たりの二酸化炭素排出量については、目標を達成しています。

今後も環境省が推進する国民運動「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動(デコ活)」等と協調した普及啓発を行うとともに、各家庭の省エネへ向けた設備導入や改修の支援を実施することで温室効果ガスの削減に努めていきます。

◎基本目標2 ものが循環するまちづくり

○方針3 資源の有効利用 ~循環型の社会をつくります~

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R6)	中間目標 (R7)	達成状況
ごみの1人1日当たり の排出量	g	690.1 H30 排出量	636.9 R5 排出量	682.8 R6 排出量	0

1人1日当たりのごみ排出量については、目標を達成しています。令和5年度の人口10万人以上50万人未満の地方自治体における1人1日当たりのごみ排出量では、全国で7番目に少ない量であり、上位10位以内の地方自治体で唯一ごみ袋の有料化を実施していません。

今後も市民へごみの減量及び分別の周知を行うとともに、令和4年度より開始 した硬質プラスチックの分別回収を進めるなど、ごみの減量推進を図っていきま す。

◎基本目標3 自然とともに安心して暮らせるまちづくり

○方針4 身近な自然環境の保全 ~豊かな自然の恵みを享受し、継承します~

0777 - 77C 0 H M 7K	76 - 1/11-11	<u> </u>	,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	, 1E 1 0 0 7	_
環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R6)	中間目標 (R7)	達成状況
緑化推進への年間取組 件数	件	494	591	550	0

緑化推進への年間取組件数については、目標を達成しています。

今後も緑化支援、緑化木や花の球根、種子の配布などを通じて、緑化を推進していきます。

○方針5 快適な生活環境の確保 ~健康で安心な暮らしを守ります~

					達
四位化栅力	554 (Tr	計画当初	現状	中間目標	成
環境指標名	単位	(R1)	(R6)	(R7)	状
					況
水質汚濁に係る環境基	%	71 /	95 7	05.7	0
準達成率	70	71.4	85.7	85.7	0

県が指定する水質汚濁の環境基準測定地点におけるBODの環境基準達成数の 割合は、目標を達成しています。

今後も河川の水質測定による監視や事業者への指導等により、継続して基準達成を目指していきます。

◎基本目標4 みんなで考え行動するまちづくり

○方針6 環境教育の推進 ~年代を問わず環境人材を育成します~

					達
四位化标为	牀 (귝	計画当初	現状	中間目標	成
環境指標名	単位	(R1)	(R6)	(R7)	状
					況
環境学習講座の年間参加	%	1 0	2 17	1 0	0
者の割合	%	1.8	2.17	1.9	0

環境学習講座の年間参加者の割合については、目標を達成しています。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や縮小していた講座やイベントが従来通り開催できるようになったことに加え、令和5年度より環境フェスタをBiVi藤枝と駅南通りで開催したため、来場者及び体験者数が従来よりも増加したためです。

今後も各種イベントや放課後児童クラブでの学習支援等を通じて、環境教育を 推進していきます。

○方針7 協働の推進 ~環境保全活動の輪を広げます~

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R6)	中間目標 (R7)	達成状況
環境保全活動の年間参加 者の割合	%	10.5	11.31	10.8	0

環境保全活動の年間参加者の割合については、目標を達成しています。これは 新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止されていた環境フェスタ等のイ ベントや行事を通常規模で開催することができたためです。

今後も環境保全活動の情報発信及び普及啓発に努めていきます。

藤枝市食品ロス削減推進計画

○基本理念 "もったいない"で食の恵みを大切にするまち・ふじえだ

were take the tree to		基準	現状	中間目標	達成
環境指標名	単位	(R4)	(R6)	(R7)	状況
家庭から出る食品ロス量	t	1,043※	957	990	©

※H29-R3 平均

家庭から出る食品ロス量については、目標を達成しています。物価高による経済的な事情などにより、家庭での消費行動が節択思考になったことと、食品ロス削減のため、食べられる物を捨ててしまうのはもったいないなどの、食品ロス削減啓発が合致し、発生量が減少したと考えられる。

今後も、食べ残しの防止等の啓発に努めていきます。

(6) 令和6年度から新たに実施した主な取組

◎涼みどころ(クーリングシェルター)の開設

気候変動適応法の改正に伴い、熱中症による健康被害を防止し、市民の命と健康を守るため、公共施設や民間施設を涼みどころとして指定し、広く市民が涼をとれる空間を設置しました。また、一部施設は、熱中症特別警戒アラートが発令された際に、クーリングシェルターとしても開設します。

現時点で涼みどころは市内に 83 か所 (公共施設: 28、 民間施設 55) 設置されており、令和 6 年度は 17 公共施 設において、1,983 名が利用しました。



◎次世代環境リーダー育成事業(ハワイ研修)を5年ぶりに実施

世界的な課題である環境問題に対し、グローバルな視点で学び、体験することを通じて、次代を担う環境リーダーを育成することを目的に、市内の高校に在学する6名を「高校生環境リーダー」に任命し、先進地のハワイで研修を実施しました。

本事業は、一般社団法人環境資源協会の後援、有限会社新日邦の協賛により、平成26年度から実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、令和6年度は5年ぶりの実施となりました。

研修生は、ビーチクリーンへの参加や水素発電施設の見学などを通じて、海洋ごみ問題や再生可能エネルギーについて学びました。また、研修後は自ら研修の成果をまとめ、12月開催された「"もったいない"市民のつどい」にて発表しました。

第3章 事業所としての環境への取組

1 藤枝市環境経営計画

上位計画の「藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン《第5期藤枝市地球温暖化対策地方公共団体実行計画(事務事業編)》」(以下「エコプラン」という。)では、市の事務事業から発生する環境負荷の低減対策を推進するため、中長期的な削減目標と目標達成に向けた戦略的なマネジメントについて定めています。

本計画では、エコプランに定められた目標を達成するため、単年度の削減目標及び環境負荷の低減に向けた取組における具体的な手段等を定めています。また、2024年度目標は、2022年度実績をもとに、2025年度目標は2023年度実績をもとに作成しています。

(1) 2024 (R6) 年度の取り組み実績

温室効果ガス排出量削減目標

2024 年度	2024 年度	2024 年度
実績値	目標値	達成度
17, 433. 3 t-C02	15 ,985.8 t-CO2	Δ

評価:公共施設のLED化や再生可能エネルギーの割合が高い電力プランを選択することで温室効果ガス排出量は減少していますが目標値には届いていない状況です。今後も省エネを考慮した設備運用、計画的な省エネ改修に努めます。

エネルギー消費量削減目標

2024 年度	2024 年度	2024 年度
実績値	目標値	達成度
9,883 kl	9,204 kl	Δ

評価:電気由来とする消費量が大きく、熱中症対策として公共施設におけるエアコンの使用量が増加したことや市内全小中学校の普通教室等に空調設備を設置したことから目標値には届いていない状況です。職員に対する節電の推進、エネルギー効率を維持するためのメンテナンスを進めます。

廃棄物排出量削減目標

2024 年度	2024 年度	2024 年度
実績値	目標値	達成度
649,588 kg	601,532 kg	Δ

評価:新型コロナウイルス感染症が縮小したことにより、イベントの実施等による廃プラスチックの排出量が増加したことで、廃棄物排出量が増加しました。今後は、庁内各部署での分別や再利用を推進します。

水使用量

2024 年度	2024 年度	2024 年度
実績値	目標値	達成度
387, 712 m ³	336, 787 m³	Δ

評価:温水プールにおいて、複数回の清掃やメンテナンスのために水の張替え回数が増加したことや漏水の発生によって、水使用量が増加しました。今後とも各施設での節水を徹底し、利用者にも啓発することで、水使用量の削減に努めます。

コピー枚数

2024 年度	2024 年度	2024 年度
実績値	目標値	達成度
8,859,016枚	9, 742, 479 枚	0

用紙購入量

2024 年度	2024 年度	2024 年度
実績値	目標値	達成度
29, 287, 475 枚	29, 452, 821 枚	0

評価 : 庁内全体でペーパーレスについて努めたことで、本庁舎での共同コピー機での コピー枚数が削減されました。また、小中学校においてタブレットを活用した事業の実 施により、用紙の購入量が削減されました。今後とも文書のデータ化による紙資源の削 減に努めます。

(2) 2025 (R7) 年度の目標

	2023 年度	2025 年度
	実績値	目標値
温室効果ガス排出量	17, 983. 3 t-C02	15,081.2 t-C02
エネルギー消費量	9,891 kl	8,952 kl
廃棄物排出量	617,657.2 kg	591, 218 kg
水使用量	360, 409 m³	325, 516 m³
コピー枚数	9,301,861枚	10, 209, 520 枚
用紙購入量	29, 146, 875 枚	30, 090, 302 枚

2 藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン

藤枝市は、行政機関であるとともに市内の大規模事業所のひとつとして、市内事業者 の模範となるべく自ら率先して環境活動に取り組んでいます。

脱炭素の取組としては、2001年度から地球温暖化対策の推進に関する法律(以下「地球温暖化対策推進法」という。)に基づく、地方公共団体実行計画(事務事業編)を策定し、温室効果ガスの削減を推進するとともに、エネルギーの使用の合理化に関する法律(以下「省エネ法」という。)に基づく特定事業者として、年平均1%以上のエネルギー消費原単位の削減に努めています。

また、その他の環境負荷低減の取組として、2008 年度から市役所本庁舎を対象として、環境マネジメントシステム(エコアクション21)の認証を取得し、2012 年度からは総合病院を除いた全ての公共施設を対象として認証を取得し、廃棄物排出量、水使用量、エネルギー使用量の削減及び環境関連法規の遵守に努めています。

これらの取組は、それぞれに密接な関わりを持つことから、より一体的かつ計画的に進めるため、2015年度からは「藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン」として、地方公共団体実行計画(事務事業編)を含めて、環境負荷の低減を図るとともに環境関連法規の遵守に努めることとしています。

(1)計画の概要

藤枝市の事務事業から発生する温室効果ガス排出量、エネルギー消費量、廃棄物排 出量、水使用量の削減を図るなど、行政が率先して環境負荷低減対策を推進し、市内 事業者や市民の環境保全に向けた主体的な取組を促進することを目的としています。

(2)目標達成に向けた取組

◎エコアクション21による環境マネジメントの展開

総合病院及び指定管理施設を除く全ての公共施設において、エコアクション21のマネジメントを実施し、より効率的・効果的な環境負荷の軽減に努めます。

総合病院についてはエコアクション21の認証取得を目指すとともに、指定管理施設 については本計画に準じた環境負荷軽減の取組への協力を求めます。

◎公共施設の戦略的な省エネルギー化の推進

○段階を踏んだ省エネルギー化の推進

エネルギー使用設備は運転マニュアルに基づき、運転管理、機器調整、改修・更新等の段階を踏んだ省エネルギー化を推進します。

○公共施設マネジメントに即した計画的な設備改修

設備機器は適切な維持管理により長寿命化に努めます。設備更新は公共施設総合管理 計画と連携して適切な時期に実施します。 設備更新時には、国県補助金の活用及びリース事業、ESCO 事業等の導入を検討し、 初期投資を最小限に抑えた上で、戦略的予算等を活用して設備機器の改修を計画的に実 施します。

◎DXの推進に基づく環境負荷の低減

市民・まち・市役所の各分野へデジタル技術の活用を浸透させることにより、DX (デジタルトランスフォーメーション)を推進し、物理的制約を超えた新たな価値や サービスを生み出し、脱炭素化や省エネルギー化、省資源化の実現を目指します。

本市の事務事業においてはデジタル技術を活用し、テレワークやペーパーレス化、 行政手続のオンライン化の推進等により、環境負荷の低減、資源生産性の向上を図る とともに、地域の環境負荷について ICT を活用したデータ収集とオープンデータ化の 推進により、環境面での効果を"見える化"します。また、地元企業等への地域 DX の促進支援により、地域で一体となった環境負荷の低減に努めます。

◎個別取組の継続と推進

本市の事務事業からの環境負荷を低減させるための取組を【グリーンオフィス】、地球の環境保全・創造に向けた取組を【グリーンプロジェクト】と区分し、削減目標の達成に向けて、各部署においてそれぞれ取組を継続して実践します。

また、通勤時に公共交通機関、徒歩、自転車の利用に努めるエコ通勤やライトダウンなど、温室効果ガス削減を目指す個別の取組については、職員の個々の状況に応じて実施します。エコ通勤については、公共交通利用推進等マネジメント協議会により、「エコ通勤優良事業所」として認証されています。

【グリーンオフィス】

環境負荷低減の取組

- ●電気使用量の削減 ●エネルギー消費量の削減
- ●公用車の燃料使用量の削減 ●水使用量の削減
- ●紙使用量の削減

資源循環の取組

●廃棄物の発生抑制 ●再使用・リサイクルの推進

事業実施における取組

- ●事務事業全般に係る環境配慮
- ●グリーン購入・契約の推進
- ●環境に配慮した設計・施工
- ●建設工事に伴う廃棄物の資源循環
- ●環境に配慮したイベント●外部への要請

環境マネジメントによる取組

- ●施設・設備等の管理 ●環境経営の推進
- ●環境法令遵守

【グリーンプロジェクト】

脱炭素社会に向けた取組

- ●地球温暖化対策の推進・普及啓発
- ●地球温暖化への適応の推進 循環型社会に向けた取組
- ●資源循環の推進
- ●ごみの減量、適正処理

自然共生社会に向けた取組

●緑化推進 ●環境保全

(3)目標

◎温室効果ガス削減目標

本市の事務事業に伴う温室効果ガス総排出量を、2030(令和 12)年度までに、2013(平成 25)年度比で 50%以上削減します。

2013 年度	2025 年度	2030 年度
基準値	中間目標値	目標値
20, 108. 2 t-C02	15,081.2 t-C02	10,054.1 t-C02

◎エネルギー消費量削減目標

本市の事務事業に伴うエネルギー消費量(原油換算)を、2030(令和12)年度までに、2020(令和2)年度比で10%以上削減します。

2020 年度	2025 年度	2030 年度	
基準値	中間目標値	目標値	
9,424 kl	8,952 kl	8,481 kl	

◎廃棄物排出量削減目標

本市の事務事業に伴う廃棄物(燃やすごみ、プラスチック、新聞紙、新聞紙以外の紙類、資源・不燃ごみ)排出量を、2030(令和12)年度までに、2020(令和2)年度比で10%以上削減します。

2020 年度	2025 年度	2030 年度	
基準値	中間目標値	目標値	
622, 335 kg	591,218 kg	560,102 kg	

◎水使用量、コピー枚数及び用紙購入量削減目標

本市の事務事業に伴う水使用量、コピー枚数及び用紙購入量を、2030(令和12)年 度までに、2020(令和2)年度比で10%以上削減します。

区分	2020 年度	2025 年度	2030 年度
运 力	基準値	中間目標値	目標値
水使用量	342, 649 m³	325, 516 m³	308, 384 m³
コピー枚数	10,746,864枚	10, 209, 520 枚	9, 672, 177 枚
用紙購入量	31,674,003枚	30,090,302枚	28,506,602 枚

※化学物質使用量については、本市で使用している化学物質は仕様で使用量の割合が決まっており、自らの判断で削減することができないため目標の設定はしていません。

(4)計画の期間

2021(令和3)年度から2030(令和12)年度までの10年間とし、5年程度を目途に見直しを行います。

(5) 藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプランの取組状況

※以下の取組状況には、総合病院及び指定管理施設も含めた数値が記載されています。

◎温室効果ガスの総排出量(C02 換算)

○種類別排出量(CO2 換算、単位: t-CO2)

年度	CO2 二酸化炭素	CH4 メタン	N20 一酸化二窒素	HFC ハイドロフルオロカーボン	総排出量
H25	19,575.9	171.4	357.6	3.4	20, 108. 2
R5	17,484.5	201.9	293.8	3.2	17, 983. 3
R6	16,936.8	201.1	292.2	3.2	17, 433. 3
対 H25 比	86.5%	117.3%	81.7%	94.1%	86.7%

○排出源別排出量(CO2 換算、単位: t-CO2)

年度	電気	都市ガス プロパンガス	その他燃料	公用車	下水処理	総排出量
H25	14, 932. 3	2,931.3	1,319.6	410.8	514.3	20, 108. 2
R5	12,765.9	3,468.3	894.2	372.7	482.1	17, 983.3
R6	12,414.4	3,305.9	873.1	360.3	479.7	17, 433.3
対 H25 比	83.1%	112.8%	66.2%	87.7%	93.3%	86.7%

○部門別排出量(CO2 換算、単位: t-CO2)

年度	一般事務	上水道	下水道	消防団	学校	病院	指定管理	総排出量
H25	3,863.6	3,008.6	2,590.4	13.1	1,390.5	6,732.0	2,509.9	20, 108. 2
R5	3,288.9	2, 335. 7	2, 210. 4	9.9	1,448.7	6, 293. 3	2,396.5	17,983.3
R6	3,063.4	2,306.7	2, 118. 0	10.0	1,473.2	6, 272. 3	2, 189. 6	17, 433.3
対 H25 比	79.3%	76.7%	81.8%	76.3%	105.9%	93.2%	87.2%	86.7%

[※]上記3表は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合あり

温室効果ガスの総排出量については、平成25年度比で13.3%削減することができました。排出源別排出量を見ると、電気使用による排出量が、16.9%減少しており、施設のLED化等による消費電力の削減や、電力自由化による電気契約先の変更により、本庁舎や地区交流センターへよりCO2排出量の少ない発電方法により得られた電気が供給されるようになったことが主な要因と考えられます。

今後も、計画的な省エネ改修等を進め、不要な照明の消灯や空調の設定温度管理など、職員に対する節電の推進を徹底し、電力消費量の削減に努めます。

◎排出係数一覧

令和6年度の二酸化炭素排出量算出に使用した排出係数は以下のとおりです。

項目	排 出 係 数	単位
電力①	0.000421	t-CO2/kWh
電力②	0.000517	t-CO2/kWh
プロパンガス	0.002990	t-CO2/kg
都市ガス	0.002050	t-C02/m³
ガソリン	0.002290	t-C02/ℓ
軽油	0.002620	t-C02/ℓ
灯油	0.002500	t-C02/ℓ
A重油	0.002750	t-C02/ℓ

◎エネルギー使用量(原油換算)

年度	エネルギー使用量(原油換算)(kl)			
平及	市長部局教育委員会総合病院		合計	
R2	4,480	1,439	3,505	9,424
R5	4,814	1,480	3,597	9,891
R6	4,705	1,494	3,684	9,883
対 R2 比	105.0%	103.8%	105.1%	104.9%

令和2年度比で4.9%増加していますが、エネルギー使用量については、電気由来とするものが最も多いため、増加の主な要因は、新型コロナウイルス感染症が縮小したことにより、公共施設や指定管理施設等の施設利用が増加し、電力使用量が増加したためであると考えられます。

今後も職員に対する節電の推進を徹底するとともに、エネルギー効率を維持するためのメンテナンスや計画的な省エネ改修等を進めることが必要であります。また、空調等の設備を新設・更新した施設等に対しては、新設の設備についての運用基準を設け、省エネを考慮した設備運用に努めてもらうよう改めて推進する必要があります。

◎廃棄物排出量

年度	可燃ごみ (kg)	廃プラスチック (kg)	新聞紙 (kg)	新聞紙以外の紙類 (kg)	資源・不燃ごみ (kg)	合計 (kg)
R2	277, 507. 2	76,471.2	9,083.8	107, 030. 6	152, 242. 4	622, 335. 2
R5	299, 764. 9	85,002.2	6,802.4	116,078.9	110,008.9	617, 657. 2
R6	304, 454. 1	86,844.3	6,085.0	122, 019. 4	130, 184. 8	649, 587. 6
対 R2 比	109.7%	113.6%	67.0%	114.0%	85.5%	104.4%

令和2年度比で4.4%増加しています。主な要因としては、市立病院で医療機器や棚の処分により資源・不燃ごみが大きく増加していることと考えられます。

今後は、廃棄物の削減を図るため、庁内への通知等により、各部署での分別や再利用 を推進するとともに、私物ごみの持ち帰りを徹底します。

◎水使用量、コピー枚数及び用紙購入量削減目標

年度	水使用量(㎡)	コピー枚数(枚)	用紙購入量(枚)
R2	342,649	10,746,864	31,674,003
R5	360, 409	9,301,861	29, 146, 875
R6	387,712	8,859,016	29, 287, 475
対 R2 比	113.2%	82.4%	92.5%

水使用量は、令和2年度比で13.2%増加しています。主な要因としては、西益津温水 プール、大洲温水プールにおいて漏水が発生し水の供給量が増加したことにより、水道 使用量が増加したためであると考えられます。

今後も引き続き、各施設等における節水を徹底し、施設利用者に対しても啓発することで、水使用量の削減に努めます。

コピー枚数は、令和2年度比で17.6%減少しています。主な要因としては、組織全体でペーパーレス化の推進に努めたことにより、本庁舎に設置されている共同コピー機でのコピー枚数が削減されたためであると考えられます。

用紙購入量は、令和2年度比で7.5%減少しています。主な要因は学校だより等の保護者向けの連絡をメール配信に切り替えたことやタブレットを活用した授業の実施等により、削減されたと考えられます。

今後も、公文書の電子化やスキャナー等の読取機器の導入を推進し、文書のデータ化 により紙資源の消費削減に努めます。

エコアクション21 職員の環境行動指針10 筒条

職員として取り組むべき基本的な項目を「エコアクション21 職員の環境行動指針 10 筒条」として挙げ、全職員で取り組んでいます。

1. 課内・廊下・会議室等における昼休み・終業時の消灯

廊下・課内の照明は、昼休み・終業時には部分点灯とします。

2. パソコンの不使用時の電源オフ

長時間の離席時や昼休み等の不使用時には、各自電源を切り、退庁時にはコンセントを 抜きます。

3. アイドリングストップの徹底

「エコドライブ10のすすめ」を実践します。

4. ワーク・ライフ・バランスの推進

週1回以上の時間外ゼロデーおよび@ホームの日における定時退庁の徹底により、CO2の削減に努めます。

5. ノーカーデーの実践

月1回のノーカーデーとエコ通勤を実践します。

6. 事務用品の有効利用の実施

ファイルや封筒など極力再利用に努め、不用品が発生したときはスターオフィスを利用 し他の部署に譲るなどし、安易に廃棄しません。

7. 用紙の3Rの実践

会議資料等の簡素化、ファイリングシステムの遵守により用紙の発生抑制に努めます。 また、裏面活用、廃棄時の分別を徹底します。

8. 自動ドア・エレベーター使用制限

エレベーターを使用せず階段を利用します。ロビーの出入り口の自動ドアは使用せず、 手動扉を使用します。

|9. 環境配慮物品の購入(グリーン購入)の推進

環境に配慮した物品(エコマークのついた物品)を購入します。

10. 過剰包装の抑制

物品購入時の過剰包装等を断り、廃棄物を削減します。

☆小中学校では、4と8を除く8箇条を環境行動指針として実践しました。

3 令和6年度の各部における主な環境取組

職員の環境行動指針に掲げた項目に準じ、各部で環境方針を定め、環境に配慮した取組 を実践しました。また、指針に掲げた項目以外にも、本来業務に伴う環境負荷を軽減する ための取組を実践しました。

◎総務部

~事務事業の環境負荷・低減に取り組みます~

契約検査課	<環境配慮を加点対象とした入札の実施>
	総合評価落札方式により、IS014001又はエコアクション21の認
	定取得事業所であることを加点対象とした入札を年32件実施し、
	建設業者等による環境への配慮を促進しました。
大規模災害対策課	<期限切れ直前の備蓄食料の有効活用>
	賞味期限が切れる直前の備蓄食料(アルファ米 30,000 食、缶入り
	保存パン 10,800 食、液体ミルク 720 本)を自主防災会や NPO 法人
	等に寄贈し、有効活用しました。

◎企画創生部

〜デジタル活用などにより、職員も「実感」できる環境に配慮した施策、事務事業を推進 します〜

広域連携課	<スケジュール管理アプリの活用>
	スケジュール管理アプリを使用することで、スケジュール共有を
	目的とした週1回の課内会議を廃止し、紙媒体の資料を削減し、
	ペーパーレス化を図りました。
情報デジタル推進	<電子申請の推進>
課	市民がインターネットを利用して各種申請ができるよう利用促進
	を図り、年間で 59,000 件以上の電子申請を受け付け、用紙の削減
	等の環境負荷低減につなげました。

◎財政経営部

~環境に配慮した財政運営と資産管理を推進します~

納税課・債権回収	<多様な納付環境の周知>
対策室	コンビニ収納・口座振替・キャッシュレス収納の推進により納期
	内納付の件数割合と収納率が増加し、督促状及び口座振替不能通
	知書の発送件数が減少しました。
資産管理課	<クールビズ、ウォームビズの推進>
	クールビズ(5月~9月)、ウォームビズ(12月~2月)を推進し、
	適正な冷暖房の温度管理を実施し、ピーク電力を削減しました。
	(H22 比でクールビズ期間 146kW 減、ウォームビズ期間 72kW 減)

◎市民協働部

~市民参加の事業を通じて、市民と一丸となって環境保全の施策の推進を図るとともに、 部内各施設においても、環境負荷軽減を最優先した管理を推進します~

交通安全・	<防犯灯のLED化推進>
地域安全課	防犯灯のLED化を推進し、年間で 52 灯のLED化を行い、市域
	全域のLED化率は98.8%になりました。また、自治会・町内会
	にLED化による環境負荷軽減効果を説明し、その重要性を啓発
	しました。
男女共同参画・	<研修会・報告に係る書類の削減>
多文化共生課	文書などのプリントアウトや郵送は極力控えるとともに、各委員
	への会議資料もメールを活用し、用紙の削減を図りました。

◎スポーツ文化観光部

~各種イベント・大会等の開催や施設等維持管理時に、Co2 排出量の削減や資源の有効活用など、環境負荷低減と循環型社会の形成に積極的に取り組み、環境保全活動を推進します~

スポーツ振興課	<夜間開催会議の時間短縮>
	配布資料の簡素化と議題を重要事項のみに限定するように徹底
	し、会議冒頭に終了時刻を伝えることで、出席者全員が意識し、
	効率的に会議を開催するとともに、エネルギー使用量の削減につ
	ながりました。
観光交流政策課	<印刷物への環境配慮>
	紙のイベント従事者資料や会議資料は必要最小限にし、データ共
	有やデータ保存を推進することで印刷用紙購入を抑制しました。

◎健康福祉部

〜健康福祉施策の展開にあたっては、市民だれもがその人らしく、安心して健やかに生活でき、幸せが実感できるまちづくりを目指します。また、藤枝版ローカルSDGsを推進し、持続可能なまちを目指します〜

福祉政策課	<フードドライブの実施>
	フードドライブを常設し、支援団体を通じて食料支援を行い、「食
	品ロス」防止に努めました。
前島保育園	<野菜くずのたい肥化>
	給食室から出た野菜くずをコンポスト内に入れ、たい肥作りをす
	すめ、花や野菜の栽培に活用し、その様子を保護者に配信しまし
	た。

健康企画課	<健康マイレージWeb版の推進>
	健康マイレージWeb版を推進することで、申請に係る用紙の削
	減、Web版を活用したメール配信により、用紙や郵送料を削減
	した。

◎産業振興部・農業委員会

~産業振興部として、環境に配慮した施策・事業を積極的に推進するとともに、産業、経済活動を行う市内全ての事業者等に対して、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクルの徹底等を呼び掛け、「持続可能な発展」を実現するまちをつくります~

産業政策課	<イベント開催時におけるごみ分別の徹底>			
	ふじえだ産業祭の実施に伴い、委託事業者に分別の指示を行い、			
	担当者としても実情を確認し、ゴミ分別の明記及び分別の実施に			
	ついても目標通りの取組が達成できました。			
農林基盤整備課	<間伐支援による森林保全の推進>			
	森林経営計画等に基づき、利用間伐による木材生産及び保育間伐			
	事業を行う団体からの申請に応じて、補助金の交付決定を行い、			
	森林保全の推進に努めました。			

◎都市建設部

~環境に配慮した施策・事業を推進して自然と共存した魅力あるまちづくりを進めます~

花と緑の課	<緑化の普及啓発>		
	花壇・街路樹の植栽や緑化木の配布を行い、緑化木は年間で280		
	団体へ配布した。また、緑の募金運動を推進し、年間で約300万		
	円の募金を行いました。		
中心市街地活性化	<イルミネーションでのグリーン電力活用>		
推進課	「ルミスタ☆ふじえだ~ファンタジックイルミネーション」に		
	て、太陽光発電を由来とするグリーン電力(1,000kWh)を使用する		
	等、環境に配慮したイベントの実施に努めました。		

◎環境水道部

~「環境日本一のまち」を目指して、"もったいない"の精神に基づいた環境保全施策を 推進し、次世代へ繋ぐ快適な生活環境を創造します!~

** * * * * * * * * * * * * * * * *				
環境政策課	<エコアクション21の推進>			
	各部署の環境の取組や部内マネジメント等がより効率よく実施で			
	きるよう支援し、環境への取組への理解を各課に呼びかけるこ			
	で、更なる環境負荷の低減を図りました。			
生活環境課	<燃やすごみの減量の推進>			
	町内会単位でごみ減量・分別に関する説明会を開催し、資源ごみ			
	の分別を徹底することで、燃やすごみの減量を図り、目標を達成			
	した。			
上水道課	<管路維持管理による無収・無効水量の改善>			
	給水管や排水管等の漏水調査や修繕等を適正に実施することで、			
	無収・無効水量の削減に努め、年間で約 160 件の修繕を行い、漏			
	水を防止しました。			
下水道課	<公共下水道の整備・接続促進>			
	公共下水道の整備、未接続者に対する接続促進活動等を通じ、市			
	域の汚水処理普及率の向上、処理区域面積の拡張を行い、公共用			
	水域汚濁負荷量の削減に努め、処理区域面積は年間で 11.61ha 増			
	加しました。			

◎教育部(市役所)

~一人ひとりが環境に興味・関心を持ち、人と環境との関わりについて自ら考え、環境に 配慮した自主的な行動を実践できる人づくりを目指します~

Halla o - Halla o Halla o State o Color o Colo			
教育政策課	<学校施設への省電力の照明器具の導入>		
	学校施設の照明設備 7,501 灯の LED 化を行い、省電力の照明器具		
	へ更新しました。		
駅南図書館	<リサイクル市の開催>		
岡出山図書館	図書館の利用者に配布するリサイクル市を 11 月に開催し、除籍、		
	または寄贈されたが受け入れできない書籍等を活用するため、雑		
	誌を配布しました。		

◎教育部(小中学校)

●秋月山 (7·1-1-1人)		
稲葉小学校	<地域の環境問題について学ぶ授業の実施>	
	瀬戸川での川遊びを通して身近な自然に触れ、総合学習では瀬戸	
	川の環境に関する発表を行い、地域の環境問題への関心を高める	
	ことができました。	
葉梨西北小学校	<自然保護について学ぶ授業の実施>	
	地域の自然保護について学習を行い、地域の方に教わりながら、	
	ホタルを実際に飼育することで、様々な人の努力で豊かな自然が	
	守られていることを学びました。	
瀬戸谷小学校	<地域の自然環境学習の実施>	
	田植え・稲刈りや茶摘み、野菜の栽培等の体験を行うことを通し	
	て、瀬戸谷の自然に触れ、自然を大切にしようという意識が高ま	
	りました。	
広幡小学校	<sdgsについての授業の実施></sdgsについての授業の実施>	
	総合学習において、SDGs17の目標のうち、1人1つテーマを決	
	め、調べ学習を行い学年で全体発表をしました。	
岡部中学校	<ごみ減量に向けた取組の実例>	
	専門員会を中心として古紙、アルミ缶回収を実施しました。生徒	
	会本部がエコ活動として再利用できるタオルを回収し、地元の福	
	祉施設に寄付を行いました。	
青島中学校	<捨てるから活かすという活動の実施>	
	教室にリサイクルボックスを設置し、余ったプリントや紙の切れ	
	端を古紙として回収し、捨てるのではなく活かすにつながる活動	
	を継続しています。	
青島北中学校	<緑あふれ環境に優しい学校づくり>	
	緑あふれ温かな雰囲気の学校にするため、環境福祉委員会を中心	
	にプランターに球根を植え、毎日世話をして育てました。この活	
	動を通じて、植物を育てることに興味を持ったり、自然環境の大	
	切さを考えるきっかけとなっています。	

◎出納室

~業務の効率化・合理化を図ることにより、環境負荷低減に向けた事務事業の推進に取り 組みます~

出納室	<伝票処理業務への意識の向上>		
	伝票不備についての通知、各部局に財務会計の相談業務を担う会		
	計リーダーの設置、外部講師による研修会の開催等により、伝票		
	不備件数を削減し、業務削減による用紙、電気使用量の削減に努		
	めました。		

◎議会事務局

~環境に配慮した事務事業を推進します~

議会事務局	<議会資料のデータ配信>
	議員タブレットを活用し、ペーパーレス議会を推進しました。ま
	た、他市町村にもタブレットを積極的な活用をお願いする事で無
	駄な紙の消費を防止しました。

◎監査委員事務局

~地球環境問題対策を推進します。地球温暖化防止のため、温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進します~

監査委員事務局	<決算審査・定期監査での用紙削減>
	決算審査・定期監査にて各課からの提出資料は原則データとし、
	事前のチェック・指導の徹底や、提出前チェックシートを作成す
	ることで、再提出による用紙廃棄のリスクを減らすよう努めまし
	た。

4 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、各事業活動において法令違反や事故、異常事態の発生は報告されておりません。なお関係当局より違反等の指摘はありません。

◎環境関連法規等一覧

○エコアクション21で対象となるもの

しエコアクション 2 1 ご対象となるもの					
種別	法令等名称	主な法規定内容	主に関係する課		
国	大気汚染防止法	・ばい煙発生施設(ボイラー	特定施設所管課		
(県)	(静岡県生活環境の保全等	等)の届出	生活環境課		
	に関する条例)	・排出するばい煙の排出基準			
		の遵守、自主測定と記録			
国	水質汚濁防止法	・有害物質や油等を貯蔵・使	特定施設所管課		
(県)	(静岡県生活環境の保全等	用する特定施設の届出	生活環境課		
	に関する条例)	・特定施設から排出される汚			
		水、廃液の排出基準の遵守			
		及び自主測定及び記録			
国	下水道法	・下水道への排出基準の遵守	施設所管課		
(市)	(藤枝市下水道条例)	・公共下水道の運営、下水道	下水道課		
		施設の維持、修繕			
		・下水道からの放流水の水質			
		検査、記録			
国	浄化槽法	・浄化槽の設置等の届出	浄化槽施設所管課		
		・浄化槽の適正管理	下水道課		
		・法定検査の実施			
国	土壌汚染対策法	・有害物質等を使用する特定	特定施設所管課		
		施設跡地の土壌汚染調査			
国	騒音規制法	・騒音を発生する特定施設及	特定施設所管課		
(県)	(静岡県生活環境の保全等	び特定作業の届出	工事担当課		
	に関する条例)	・発生する騒音の規制基準の	生活環境課		
		遵守			
国	振動規制法	・振動を発声する特定施設及	特定施設所管課		
(県)	(静岡県生活環境の保全等	び特定作業の届出	工事担当課		
	に関する条例)	・発生する振動の規制基準の	生活環境課		
		遵守			
		・地域の振動測定			
国	悪臭防止法	・悪臭を発生する物質を排出	特定施設所管課		
		する特定施設の規制基準の	生活環境課		
		遵守			
		・地域の臭気測定			

国	化学物質の審査及び製造等 の規制に関する法律 (化審法)	・特定化学物質の使用に関する届出	特定化学物質使用課
国	特定化学物質の環境への排 出量の把握等及び管理の改 善の促進に関する法律 (化管法)	・特定化学物質の排出管理	下水道課
国	ダイオキシン類対策特別措 置法	・ダイオキシン類を排出する 特定施設の届出・排出するダイオキシン類の 排出基準の遵守	特定施設所管課
国	ポリ塩化ビフェニル廃棄物 の適正な処理の関する特別 措置法 (PCB特別措置法)	・PCB廃棄物の適正管理	PCB廃棄物保有課
国	毒物及び劇物取締法 (毒劇法)	・毒物及び劇物の保管、排出 等の規制基準の遵守	毒物、劇物保有課
国	消防法	・危険物の貯蔵、取扱の制限・貯蔵所設置等の許可・設備等の基準維持・危険物取扱者の選任	危険物取扱課
国	水銀による環境の汚染の防 止に関する法律	・水銀使用製品の廃棄基準の 遵守	水銀使用製品保有課
国	資源の有効な利用の促進に 関する法律 (資源有効利用促進法)	・再生資源、部品の利用の推進・資源の有効な利用の促進	全庁
国	廃棄物の処理及び清掃に関 する法律(廃掃法)	・一般廃棄物処理計画の策定 及び推進・事務事業から排出される一 般廃棄物・産業廃棄物の適 正処理	全庁 ※一般廃棄物処理計 画の策定については 環境政策課
国	容器包装に係る分別収集及 び再商品化の促進等に関す る法律 (容器リサイクル法)	・容器包装廃棄物の適正処理・容器包装廃棄物の分別収集	全庁 ※分別収集について は生活環境課
国	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	・特定家庭用機器の長期間利 用の推進 ・特定家電廃棄時の適正処分	特定家電使用課

国	建設工事に係る資材の再資	・解体等における現場で分別	工事担当課
	源化等に関する法律	する義務	
	(建設リサイクル法)	・建設工事に係る資材の再資	
		源化等の再資源化の促進	
国	食品循環資源の再生利用等	・食品廃棄物発生の抑制、減	学校給食課
	の促進に関する法律	量及び再利用の推進	
	(食品リサイクル法)		
国	使用済自動車の再資源化等	・使用済み公用車のリサイク	公用車所管課
	に関する法律	ル及び適正処理	
	(自動車リサイクル法)	・購入及び車検時のリサイク	
		ル料の支払い	
国	エネルギー使用の合理化に	・エネルギー使用量を中長期	環境政策課
	関する法律(省エネ法)	的にみて年平均1%以上の	
		削減	
		・エネルギー使用状況の報告	
		・管理員の選任	
国	地球温暖化対策の推進に関	・地球温暖化地方公共団体実	環境政策課
	する法律(温対法)	行計画の策定、推進	
		・市内の温室効果ガス排出抑	
		制等のための施策の推進	
		・温室効果ガス排出量の報告	
国	フロン類の使用の合理化及	・特定機器(業務用エアコン	特定機器所管課
	び管理の適正化に関する法	等)の簡易・定期点検の実	
	律(フロン法)	施	
		・登録事業者への廃棄委託	
国	建築物のエネルギー消費性	・建築物のエネルギー性能向	施設所管課
	能の向上に関する法律	上に関する施策の実施	建設工事担当課
	(建築物省エネ法)	・特定建築物の建築物エネル	
		ギー消費性能基準への適合	

○その他の環境関連法規

種別	法令等名称	主な法規定内容	主に関係する課
国		・環境施策全般の推進、実施	環境政策課
国	国等における温室効果ガス	・電力、自動車などの購入契	環境政策課
	等の排出の削減に配慮した	約における温室効果ガス排	契約検査課
	契約の推進に関する法律	出削減に配慮した契約の推	資産管理課
	(環境配慮契約法)	進	
国	環境情報の提供等の促進等	・環境配慮の状況の公表	環境政策課
	による特定事業者等の環境	・環境に配慮した事業活動の	生活環境課
	に配慮した事業活動の促進	促進のための施策の推進	
	に関する法律		
	(環境配慮促進法)		
国	環境の保全のための意欲の	・環境保全の意欲推進と環境	環境政策課
	増進及び環境教育の推進に	教育の推進に関する施策の	生涯学習課
	関する法律	策定及び実施 	地区交流センター
	(環境教育法)		小中学校
国	国等による環境物品等の調	・環境負荷の低減に資する物	全庁
	達の推進等に関する法律	品や役務の調達の推進 	
	(グリーン購入法)	上	T=1+4-7-1-74-3H
国	生物多様性基本法 循環型社会形成推進基本法	・生物多様性の保全の推進・循環資源の適正な措置	環境政策課環境政策課
国	(循環型社会基本法)	・循環負源の過止な指し ・循環資源に関わる施策の策	環境政策球 生活環境課
	(循垛坐红云盔平仏)	定及び実施	土伯垛况味
		()	
国			生活環境課
	資源化の促進に関する法律	分別収集	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	(小型家電リサイクル法)	・再資源化事業者への引渡し	
国	プラスチックに係る資源循	・プラスチック使用製品廃棄	生活環境課
	環の促進等に関する法律	物の分別収集	
	(プラスチック資源循環		
	法)		
県	静岡県環境基本条例	・環境施策全般の推進、実施	環境政策課
県	静岡県地球温暖化防止条例	・市内の温室効果ガス排出抑	環境政策課
		制等のための施策の推進	
県	静岡県産業廃棄物の適正な	・事務事業から排出される一	全庁
	処理に関する条例	般廃棄物・産業廃棄物の適	
		正処理	

県	静岡県地下水の採取に関す	・揚水設備の届出、取水基準	地下水利用施設所管
	る条例	の遵守	課
		・採水量の報告	
市	藤枝市環境基本条例	・環境施策全般の推進、実施	環境政策課
市	藤枝市廃棄物の処理及び清	・事務事業から排出される一	全庁
	掃に関する条例	般廃棄物・産業廃棄物の適	
		正処理	
市	あき地に繁茂した雑草等の	・現地確認	生活環境課
	除去に関する条例	・指導、勧告、命令	
市	藤枝市まちをきれいにする	・環境美化、良好な生活環境	生活環境課
	条例	の確保に係る施策の実施	

5 環境に関する苦情等受付状況

(1) 市内で発生した苦情

公害等に関する苦情については、近年、公害関係法による規制の強化、企業の公害 防止に対する認識の向上等により、広域的なものや緊急性の高い深刻な事案は殆どあ りませんが、苦情発生源は多様化しています。

また、動物に関しては、近隣住民の猫の多頭飼いや野良猫へのえさやり等、猫の苦情・相談等が多く、犬については、住宅密集地での鳴き声の苦情や、散歩の際のフン・尿の放置の相談が寄せられています。

廃棄物については、ごみ集積所でのルールを守らないごみが増加傾向にあります。 今後もホームページや広報、SNSなど、様々なツールを利用して、広範囲にわた る環境問題に関する情報提供、意識の啓発に努めていきます。

年度/種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	廃棄物	犬·猫	合計
R6	18	9	34	1	6	129	93	290
R5	26	7	29	0	14	119	125	320
R4	37	6	24	1	11	122	153	354
R3	5	5	9	0	8	148	138	313
R2	11	4	11	0	6	125	101	258

環境に関する苦情件数の推移(件)

※大気汚染~悪臭の5項目の苦情件数は、R4年度から一回で対応を終了した軽度 の事案や法律・条令等の規制対象にならない事案も苦情件数に含めることに変更し たため件数が増加しています。

(2) 市の業務に対する苦情

市の業務に対する苦情については、道路や学校の草木に関する相談が多く寄せられました。また、貸館利用者による騒音や、発注した工事に伴う砂埃等の相談も寄せられ、今年度は下記のとおり対応を致しました。

今後は相談が寄せられる前に迅速に対応できるよう、市全体の環境配慮に対する意識の向上に努めていきます。

内容	対応	
道路、学校等の敷地内の草木に関する相談	草木の剪定、落ち葉の撤去等を実施	
発注工事した工事に伴う騒音・砂埃等に関す る相談	業者へ指導、地元住民へ説明	
る相談		
汚水処理施設の匂いに関する相談	業者に依頼し、点検・清掃を実施	

市の業務に関する苦情の内容と対応

6 代表者による全体評価

本市は、2020年度に策定した「第6次藤枝市総合計画」において、「4K(健康・教育・環境・危機管理)」施策と本市独自の「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりに「ICT(情報通信技術)」を掛け合わることで、安全・快適・便利な「スマート・コンパクトシティ」への転換を目指しています。また、SDGsの17のゴールに貢献する本市独自の「藤枝市版ローカルSDGs」を設定し、地方創生の一層の充実・深化とともに、その達成を目指しています。

環境分野においては、2001年度に「藤枝市環境基本計画」を策定し、2020年度には「第3次藤枝市環境基本計画」へと改定するとともに、2021年2月には「ゼロカーボンシティ」を表明、2024年1月には「デコ活宣言」を行い、脱炭素社会、循環型社会に向けた行動も進めています。

庁内の環境マネジメントの推進に関しては、エコアクション21による推進を図っています。エコアクション21は2008年3月に認証登録して15年以上が経過し、各課のエコアップマネージャーを中心とした部内マネジメント体制を整え、各部門において環境負荷の低減に努めています。

令和6年度におけるエコアクション21の取組結果は、「第3次藤枝市環境基本計画」の指標の一つである「市域全体における温室効果ガス排出量」が843.8 千 t-C02となりました。これは、令和7年度の中間目標をすでに達成しています。また、その他の指標についても概ね計画通りに推移しています。

今後も引き続き、エコアクション 2 1 に定められた各項目での環境負荷の削減を目指すだけでなく、本来業務においても「藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン」に基づき、環境負荷を軽減する取組について工夫し、地球的規模の課題である温暖化対策に向けましては、政府が目指す 2050 年のカーボンニュートラルに自治体として積極的に貢献するため、運動公園や学校の校舎など公共施設の LED 化を順次進めるとともに、中山間地域の森林資源を活かした本市独自のカーボンクレジットを、地元エネルギー会社や森林組合等と連携しながら推進してまいります。

令和7年7月 藤枝市長 北村 正平



藤枝市 環境政策課

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山1丁目11番1号電話 054-643-3183 E-Mail kankyoseisaku@city.fujieda.shizuoka.jp ホームページ https://www.city.fujieda.shizuoka.jp

発行 令和7年7月